

STS/STW専用スタンド (STS-CJⅡ /STW-CJⅡ) 組立説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
 ●この説明書は、製品の組立て方、使い方、使用上の注意事項について記載してあります。
 ●ご使用前に必ず、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 ●また製品を末永くご使用いただくために、この説明書は大切に保管してください。

組立てをはじめる前に

- 組立てる前に必ず、構成部品一覧/ビスパッカー一覧、完成図をご覧になり、内容物をご確認ください。
- 組立作業をする場合は、カーペットの上か、毛布などを敷いた所で、床や製品を傷つけないようにご注意ください。
- 組立にあたっては、プラスドライバー（中型）をご用意ください。

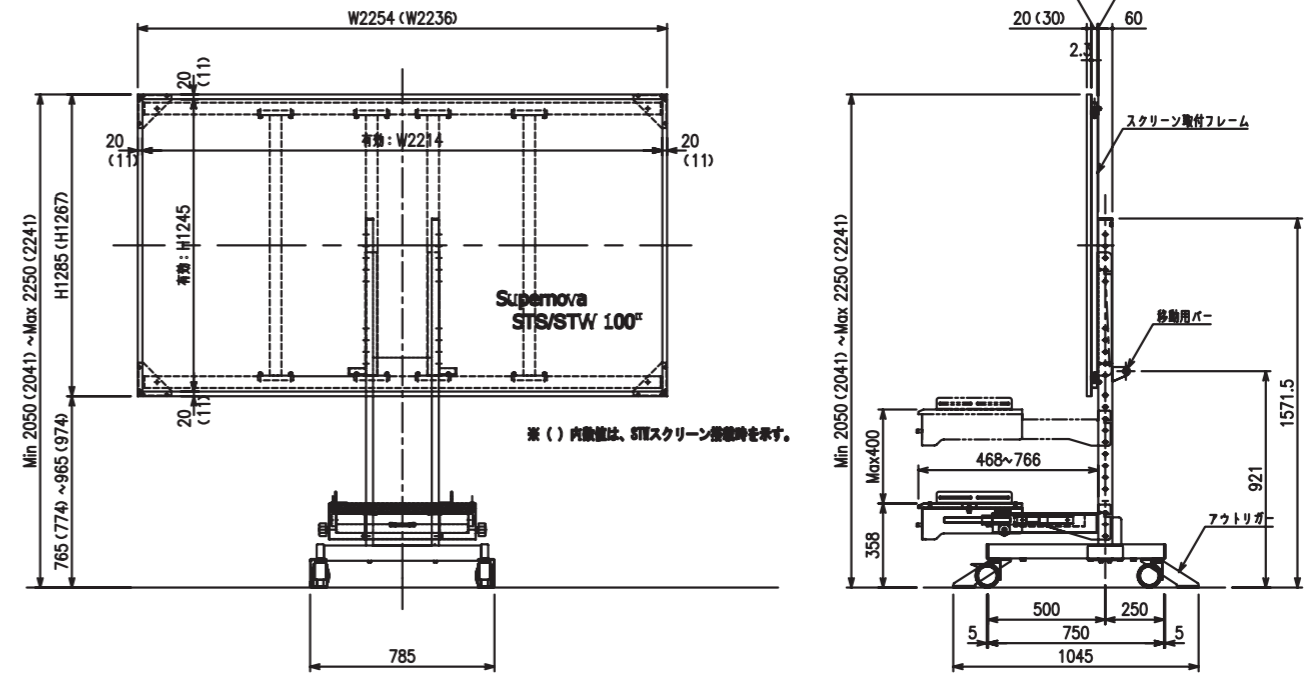
※最後に安全上の注意を必ずお読みください。

※設置、組立の不備、または天災による事故・損傷について当社は一切責任を負いません。

[本体質量]

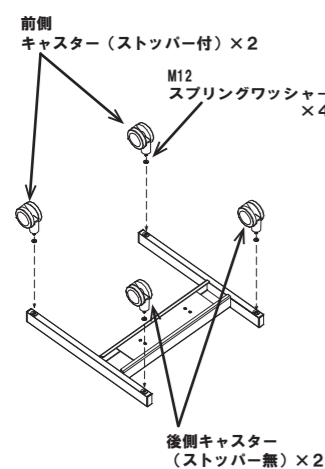
STSスクリーン取付時 93 kg
 STWスクリーン取付時 83 kg

寸法図



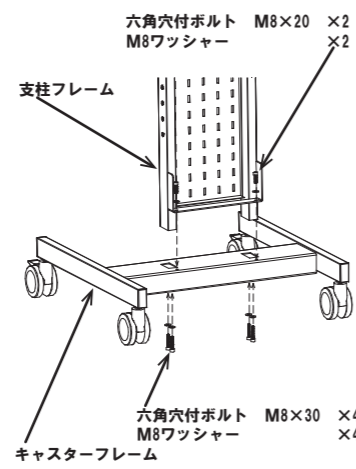
品番	品名	数量	外観図	用途	品番	品名	数量	外観図	用途
①	キャスターフレーム	1			⑫	アウトリガー	4		
②	支柱フレーム	1			⑬	プロジェクター固定金具 (大・小)	各2		
③	スライド式プロジェクター台	1			⑭	プロジェクター固定ベルト	2		
④	移動用ハンドル	1			⑮	六角穴付ボルト M8×30	4		支柱組立用
⑤	スクリーンフレーム (上下)	各1			⑯	六角穴付ボルト M8×20	12		ハンドル・支柱補強 スクリーンフレーム スライドテーブル取付用
⑥	スクリーンフレーム (外側左右)	各1			⑰	六角穴付トラスネジ M6×15	24		スクリーンフレーム組立 アウトリガー取付用
⑦	スクリーンフレーム (内側左右)	各1			⑱	M8ナット	4		
⑧	キャスター	2			⑲	M8ワッシャー	16		
⑨	キャスター (ストッパー付)	2			⑳	M12スプリングワッシャー	4		キャスター用
⑩	STSスクリーン用取付金具	4			㉑	レンチ	1		
⑪	STWスクリーン用取付金具【A】	4			㉒	スパナ (14/17mm)	1		
	STWスクリーン用取付金具【B】	4							

1 キャスターの取付



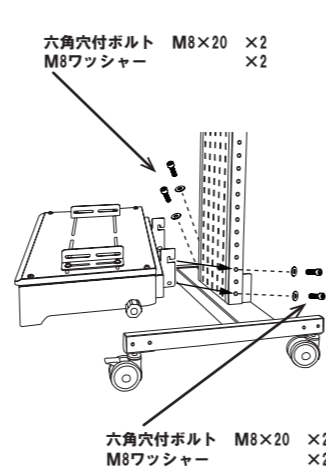
キャスターフレームのナットが見える部分を上にしてストッパー付の前側キャスターとストッパー無の後側キャスターをスパナを用いてしっかりと締め付けてください。

2 キャスターフレームと支柱フレームの組立



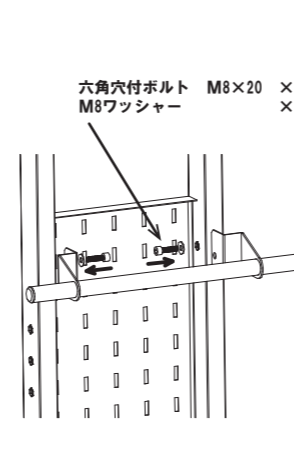
キャスターフレームに支柱フレーム（前後の向きを確認してください。）を差し込み、キャスターフレームの上部を六角穴付ボルトM8×20、M8ワッシャーで2ヶ所、下部を六角穴付ボルトM8×30、M8ワッシャーで4ヶ所を六角レンチを用いて締め付けます。

3 スライド式プロジェクター台の組立



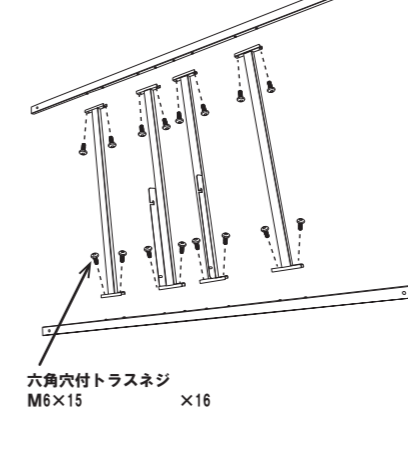
スライド式プロジェクター台を六角穴付ボルトM8×20、M8ワッシャーで4ヶ所締め付けます。このとき別紙の投射関係図を参照していただき使用されるプロジェクターに合わせて高さを調節します。

4 移動用ハンドルの組立



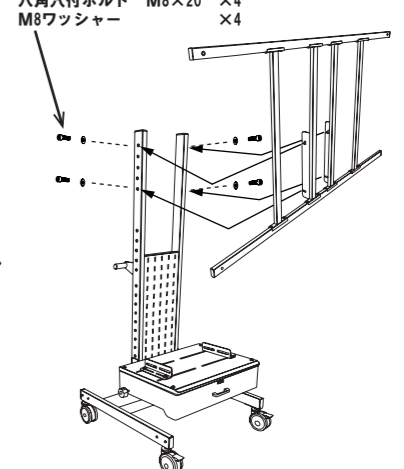
移動用ハンドルを支柱フレーム背面に六角穴付ボルトM8×20、M8ワッシャーで2ヶ所締め付けます。

5 スクリーンフレームの組立



スクリーンフレーム（上下）の間に2種類の左右フレームを六角穴付トラスネジを使用して締め付けます。このとき内側フレームにある支柱取付部分が外側になるように取付けます。

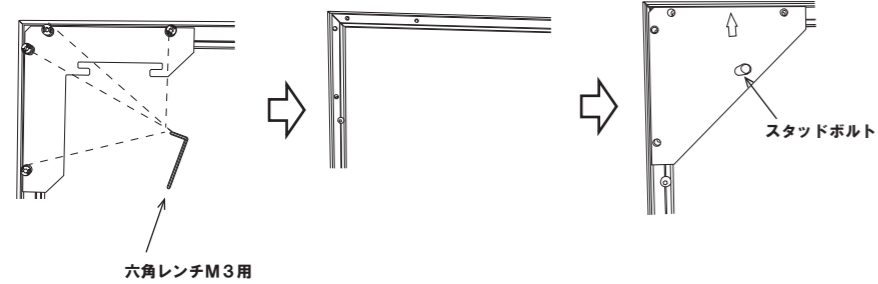
6 スクリーンフレームとスタンド本体の組立



手順5で組み立てたスクリーンフレームを六角穴付ボルトM8×20、M8ワッシャーを使用して取付けます。このとき投射関係図を参照していただきスクリーンを取り付ける高さを調節します。

7 スクリーン取付用金具への取替

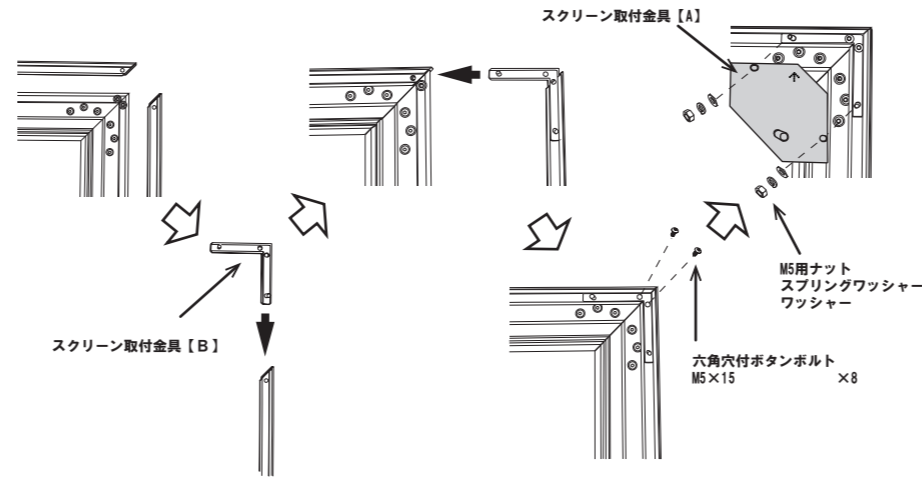
【STSスクリーン（ボードタイプ）】



3mmの六角レンチを使用し4本のキャップボルトを取り外します。
（取り外したキャップボルトはなくさないようにしてください。）
キャップボルトをすべて外したら既存の引掛け金具を取り外してください。

引掛け金具を取り外した箇所にSTSスクリーン用取付金具を取付けます。
（取り付ける際、金具に表記されている矢印が上下方向を向いていることを確認してください。）
ネジ穴の位置を確認したら取り外したキャップボルトで金具をしっかりと固定します。

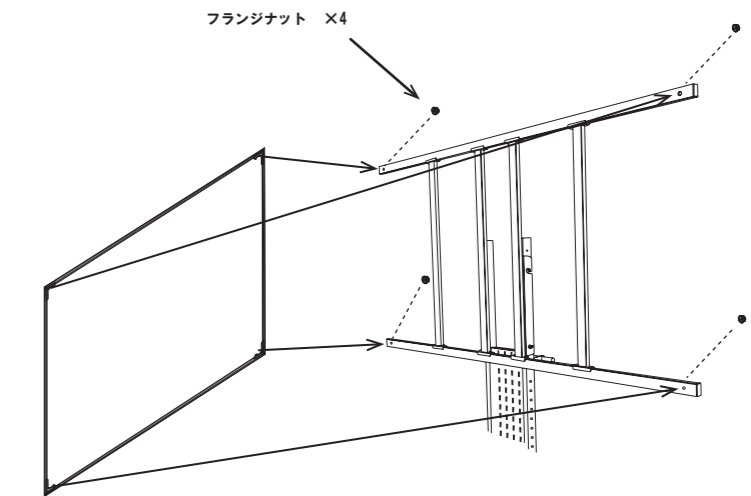
【STWスクリーン（張込みタイプ）】



STWスクリーン用取付金具を【A】、【B】を分けた状態にして用意していただきます。
張込スクリーンの化粧枠を取り外し、短い化粧枠の背面の溝にスクリーン取付金具【B】を両端に差し込みます。予めスクリーンに取付けた長い化粧枠の背面の溝にもスクリーン取付金具【B】を差し込みながら張込スクリーンの四方に化粧枠を取付けます。

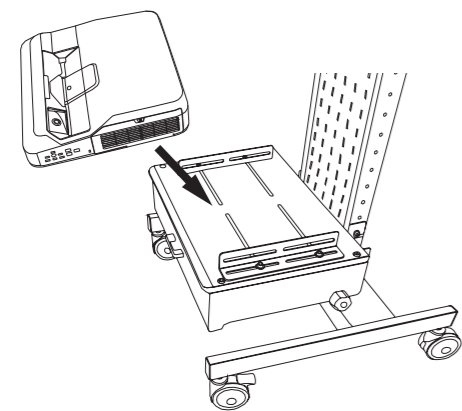
四方の取付位置が決まればM5×15の六角穴付タンボルトで固定します。
固定したスクリーン取付金具【B】のボルト部分にスクリーン取付金具【A】の穴とおして付属のM5用ナットを使用して締め付けます。
このとき、スクリーン取付金具【A】の表面に打刻してある矢印がそれぞれ上下方向を向くように取付けてください。

8 スクリーンの取付



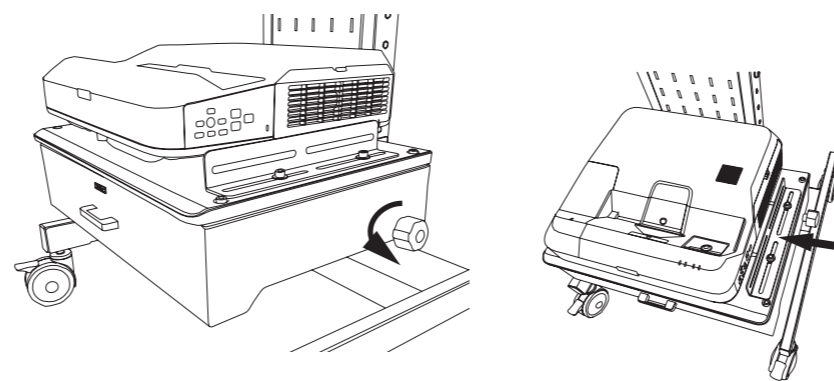
スクリーンの背面にスタンド取付用金具がしっかりと固定していることを確認後、スタンド取付用金具のボルト部分をスクリーン取付バーの両端にある貫通穴に通してください。
4箇所のボルトが貫通していることを確認できましたらフランジナットを使用して固定してください。

9 プロジェクターのセッティング



プロジェクターをスライド式プロジェクター台に乗せ、電源ケーブル・映像ケーブル等を接続します。

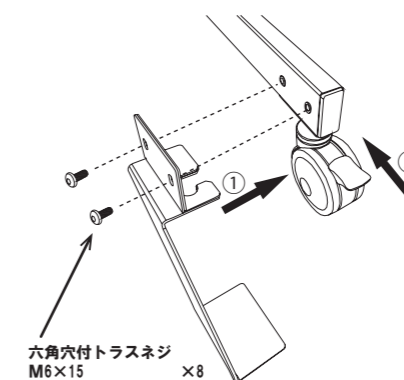
10 プロジェクターの位置調整



プロジェクターの電源をONにしスクリーンに映像を投影し画角を調整します。
スライド式プロジェクター台の横にあるハンドルを緩めて前後の位置を決めます。
前後の位置が決まればハンドルを締めて固定します。
プロジェクター本体を操作して画角の微調整をします。
投射する位置が決まったらプロジェクター台の上にあるプロジェクター固定金具を寄せてプロジェクターの位置を固定します。
（※プロジェクター固定金具はプロジェクターの大きさに合わせてサイズをお選びください。）

最後にプロジェクター固定ベルトで固定します。



11 アウトリガーの取付



アウトリガーをキャストスタンドの外側から①、②の順番でスライドするように差込みます。
アウトリガーの穴の位置とスタンドベースの穴位置があつたところで六角穴付トラスネジM6×15で締め付けます。

安全のために必ず守ること

●この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています。


 警告	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容
 注意	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「傷害を負う可能性または物理的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容


●図記号の意味は次のとおりです。


 絶対におこなわないでください。	 必ず指示に従って、おこなってください。
---	---

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。

警告


●お客様自身で商品の改造は絶対にしないでください。
→変形や破損、転倒などを引き起こす原因になります。 


●設置後、移動後は必ずキャスターのストッパーをロック位置にしてください。
→誤った設置や調整は、転倒してけがの原因になります。 


●LaserPanelの取付以外のご使用は絶対になさらないでください 


注意

設置するとき


●設置作業は必ず2人以上で行って下さい。
→重量物が落下して怪我の原因になります。 


●床に傾斜や段差のある不安定な場所には設置しないでください。
→転倒してけがをする恐れがあります。 


●屋外での使用や水漏れを避けてください。
→さび・変色の原因となります。 


●ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
→スクリーンが落下してけがの原因になります。 

使用するとき


●乱暴な扱いや用途以外の使用はしないでください。
→けがや故障、破損の原因になります。 


●記載されているスクリーン以外は乗せないでください。
→商品が破損したり、転倒でけがをする恐れがあります。 

●商品の上に足を掛けたり、腰掛けたりしないでください。又、小さいお子様が近くで遊ばないように注意してください →商品が破損したり、転倒でけがをする恐れがあります 

●使用中にネジの緩みによるガタツキが生じた場合は締め直してください。締め直してもガタツキが直らない場合は使用を中止してください。→そのまま使用しますと、変形や転倒を起こす原因になります。 

移動させるとき

●商品を移動させるときは、転倒防止のため2名以上で操作してください。
→1名は本体を操作、もう1名は安全確認をした後、移動させてください。 

●移動する際に段差のある所や、ジュウタン等柔らかい所を通過する場合は十分にご注意ください。
→転倒してけがをする恐れがあります。 

アフターサービス

●この説明書には保証書が付属しています。保証期間はご購入日より1年間を保証期間とさせていただきます。保証期間中の修理は以下の保証規定に基づいて修理させていただきます。また保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料にて修理させていただきます。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書にしたがった正常な状態で故障した場合には無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に修理の必要が生じた場合には製品と保証書（取扱説明書）をご確認のうえ、販売店、または弊社修理窓口までご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 保証書にお買い上げ日の年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、及び本書の字句を故意に書き換えた場合。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異による故障及び損傷。
 - 使用の誤り、乱用、改造等による故障及び損傷。
 - その他、弊社の責に帰し得ない事由により生じた故障や損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan

保証書

品名	STS/STW専用スタンド	型式	STS-CJII/STW-CJII
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 —	
	ご連絡先	— —	
販売店	お買い上げ日	年	月 日
	保証期間	お買い上げ日より1年間	
	店名・住所・電話番号		

●この製品を第三者に譲渡する場合は、この説明書も共に譲渡し、よく読んでから使用するようご注意ください。

※改良のため、仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

お手入れの仕方

- 通常のお手入れとして、時々乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがついたときは5～6倍に薄めた中性洗剤でふき取り、水拭きした後、乾いた布で、から拭きしてください。
- ベンジンやシンナー系溶剤で拭いたり、ぬれたまま放置しないでください。
- サビや変色の原因になります。

別紙の組立説明書をよくお読みください。

 **株式会社 ケイアイシー**
KIC 〒160-0022東京都新宿区新宿1-28-11
TEL. 03-3357-7195
<http://www.kic-corp.co.jp>

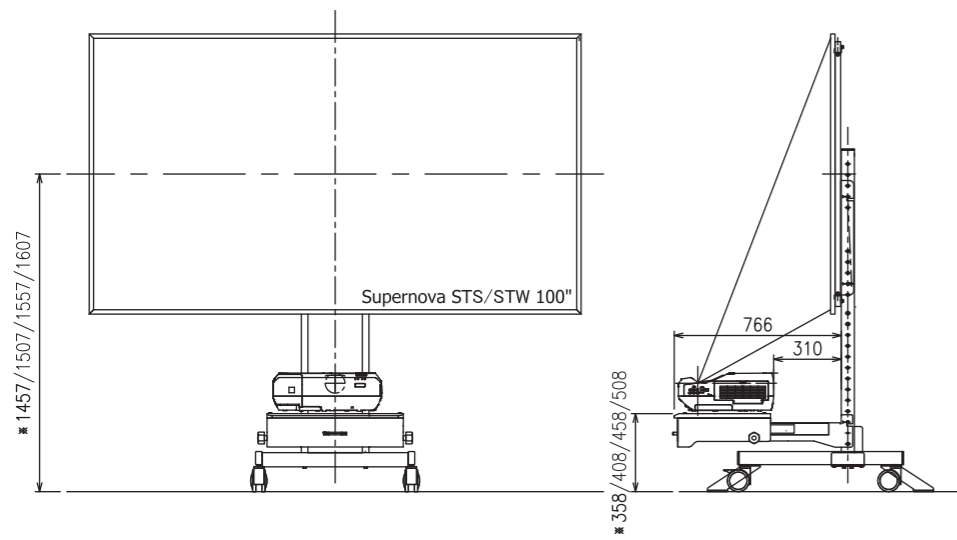
取説No. 483220

MADE IN CHINA

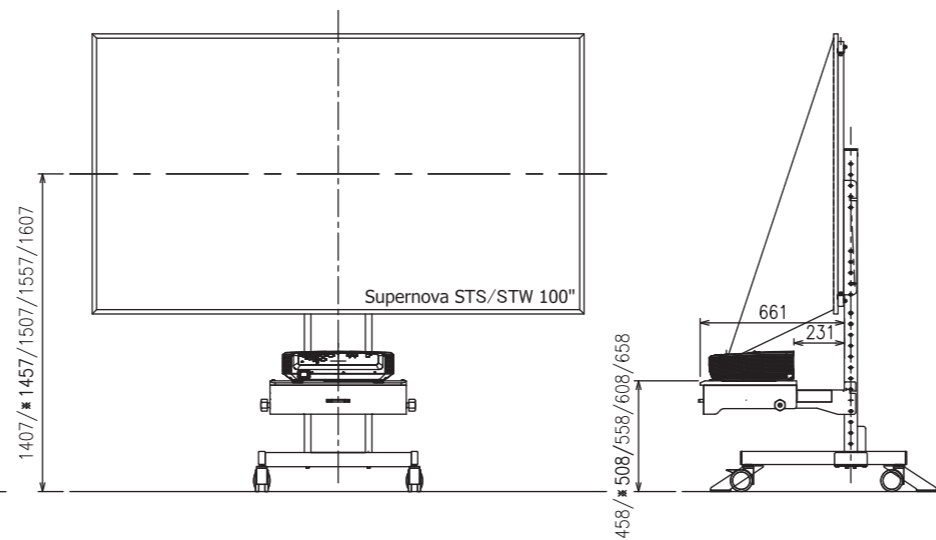
STS/STW専用スタンド (STS-CJ II /STW-CJ II) 投射関係図

- こちらの投射関係図は弊社で検証した機種のみを掲載いたしました。
 実際にご使用いただきますプロジェクトについてはあらかじめ投射関係の検証をしていただくことをお勧めいたします。
- スクリーン高さ、プロジェクター台の高さは下記の寸法を参考に調整してください。
 寸法図に記載してある※印の寸法がスクリーンの中心とプロジェクター台の基準となる高さです。

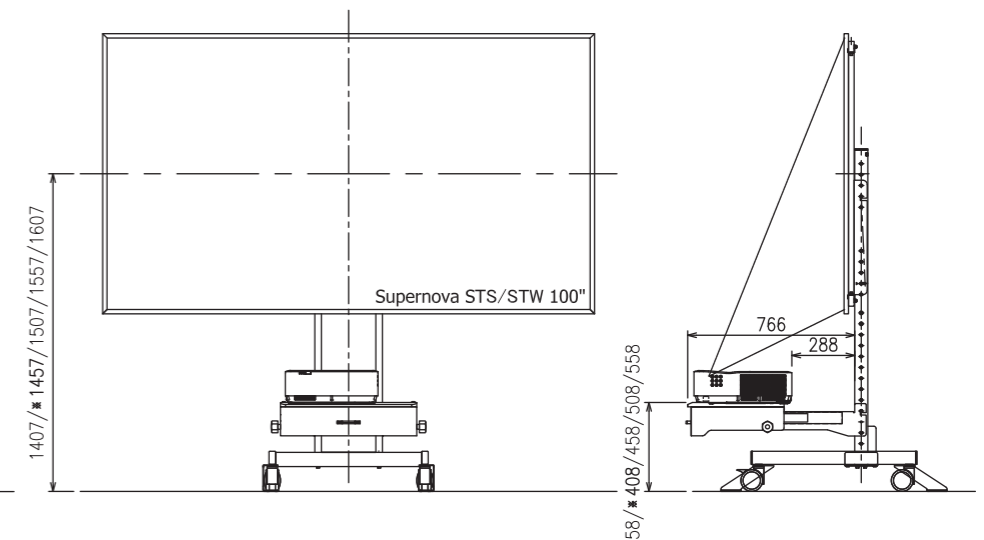
短焦点プロジェクター
EPSON(EB-700U)



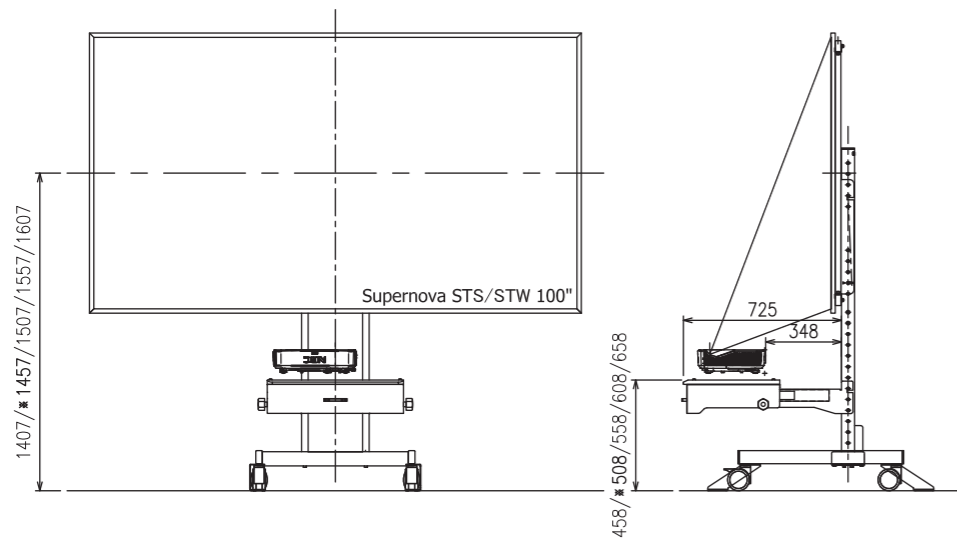
短焦点プロジェクター
SHARP(PG-LU400Z)



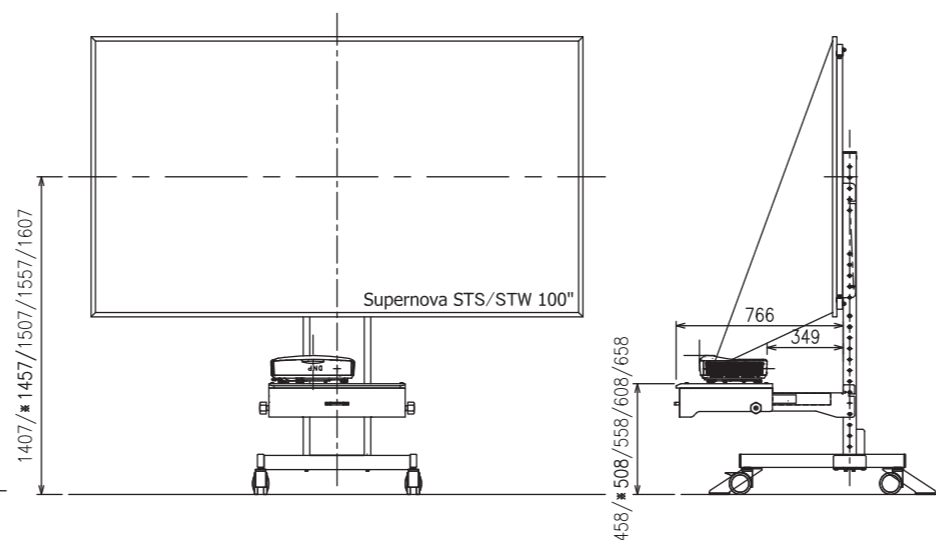
短焦点プロジェクター
RICOH(WUC4660)



短焦点プロジェクター
NEC(NP-U321HJD)



短焦点プロジェクター
DNP



短焦点プロジェクター
CASIO(XJ-UT351W/XJ-UT351WN)

